

絵画を出品する吉田尚治さん



みやき町・吉田さん、鳥栖市・宮原さん

25日から 初共演の二人展

みやき町の画家吉田尚治さん(45)と彫刻や絵画を手掛ける鳥栖市の宮原萌さん(24)の作品を約20点ずつ展示する「二人展」が25日から、鳥栖市原町の糸山自動車文化館で開かれる。無料、30日まで。

吉田さんは高校生の時に本格的に油絵を始め、武蔵野美術短大(東京)美術科を卒業。「追求するほど芸

術の深みにはまった」と30年近く続けている。画材にこだわり、額縁は自作。絵の具も「自分のためだけの色」と顔料から調合する。ギリシャ神話を題材にした大作「ペレロポンとキマイラ」や古典作品の模写などの油絵、裸婦の木炭デッサンを出品する。宮原さんは今年3月に崇城大大学院(熊本市)芸術

研究科を修了。建設関係の会社で働きながら制作を続ける。「360度から作品を見られるのが彫刻の魅力」と宮原さん。FRP(繊維強化プラスチック)の裸像「カプセル」、石こうや木材といった異なる素材を組み合わせた2対超の2体の像「仕事場」を出品、ク

レヨンや土を用いて鳥などを描いた絵画も展示する。面識のなかった2人に「共演」を勧めた糸山自動車文化館の糸山誠子さん(71)は「地元の家を少しでも応援できれば」と話す。同館110942(83)3831。

(山下航)



宮原萌さんと彫刻作品